



堀場製作所OB会

# 会報

通巻49号

発行日 令和3年11月30日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 酒井 俊英

- ◆東京支部
  - ・国際食品・飲料展の見学
- ◆クラブ活動報告
  - ・ボウリングクラブ
  - ・釣りクラブ
- ◆自由投稿
  - ・「一寸先は闇」
  - ・「堀場での経験を生かし“おもしろおかしく”今を生きる」

- ◆2021年会社ニュース ピックアップ
- ◆OB会だより
  - ・堀場OB会ホームページ紹介
  - ・幹事・監査体制
  - ・新入会員紹介
  - ・25期古希になられた方
  - ・訃報
  - ・年間行事計画について
- ◆編集後記



## 琵琶湖疎水記念館

京都市左京区岡崎に琵琶湖疎水記念館があります。明治期に琵琶湖から疎水を引く事業が田辺朔朗らの手によって行われた。江戸時代から構想があり、疎水事業は明治期に完成されます。明治14（1881）年、第3代京都府知事に就任した北垣国道は、琵琶湖から引いた疎水の水力で新しい工場を興し、舟で物資の行き来を盛んにしようと計画、電力事業で市電を走らせます。疎水記念館には、資料が展示されています。当時は南禅寺には似合わないと言われた水路閣も風景になじんでいます。岡崎地域には邸宅もたくさんあり庭園の水として利用されており、また、本願寺用水として本願寺まで引かれ、土地の高低差を利用して、本願寺の防火用設備として現在も利用されています。明治時代の叡智や技術が今に生きています。記念館の見学は無料、地下鉄蹴上駅から徒歩10分。

†  
せんおくはくこかん  
**泉屋博古館**

疎水記念館から鹿ヶ谷方面に歩いて10分ぐらいの場所に住友家の青銅器コレクションの泉屋博古館がある。江戸時代、中国への憧れから、収集したものを展示している。落ち着いた庭園もあり、時期によっては特別展の開催もあります。

（伊藤 哲 記）



## 東京支部

### 国際食品・飲料展見学(2021/3/10)

2021/3/10日(水曜日)尾崎、横山、石川、龍の4名で幕張メッセの国際食品・飲料展の見学に行ってきました。



お天気は、快晴で暖かく展示会の見学日和でした。今回の展示会は、コロナの対策など安全面で万全の態勢で行われていました。

まずは、受付で手の消毒をしていざ入場、あらかじめ登録をしているのでスムーズに入場出来ました、もちろんマスク着用です。

入場者はいつもの40%ぐらいでした。

出展社は、500社もあり大きな展示会です。まずは、熊本県の大きなミカン、晩白柚(ばんぺいゆ)の説明を聞き記念写真、柑橘系の良いにおいでした。1個4000円もするそうです。

国際食品の展示会なので、世界各国の、ワイン、ビール、オリーブ油、など試飲ができて世界を楽しむことができます。

日本のブースでは、日本酒、どぶろく、焼酎、

ビール、醤油、ソース、海産物や畑の野菜などの加工品が展示されていました。

どぶろくのコーナーでは、ゆずの香りのする非常に美味しいお酒に遭遇しました。醤油のメーカー、フンドーダイ(熊本本社)では、透明醤油のあじみコーナーがあり、珍しいのもあってかすごい行列が出来ていました。あじみをする、透明なのに醤油の味がして不思議な感覚になりました。

海産物コーナーでは、桜エビや生シラスの冷凍を一匹ずつにできる技術を開発した会社があり採れたての鮮度をそのままに食卓に届けられると豪語されていました。試食の感想は、臭みもなく美味しくいただきました。

最後に、デザートコーナーで、アイスモナカをいただき、みんなで、記念撮影をして展示場を後にしました。(尾崎 克好 記)



## クラブ活動報告

### ボウリングクラブ

**1月例会**はコーチ兼ドリラーとして参加の平松尚武さんが、232・259・255トータル746の驚異的なスコアで優勝です。2位には復調の田中光子さんがアベ130で入賞です。3位はアベ168の永井博さんが手堅くまとめました。毛利は前回は上回るスコア199・232・180で4位でした。ボウリングは静かに続けます。2月は例会開催だけで、新年会&表彰式は3月に延期します。

順位	氏名	Net	次回HD
優勝	平松コーチ	722	-33
2位	田中光子	595	67
3位	永井博	584	26

**2月例会**は競技会のみで開催となりました。毛利が3ゲームとも200アップで優勝しました。コントロールよりも強い球を投げる意識が功を奏しました。何事も行き過ぎると良くないので次回は何？準優勝は地道な練習が実を結んだ山田昌美さんです。1位から5位の田中光子さんまで16ピンの僅差でした。

順位	氏名	Net	次回HD
優勝	毛利隆文	594	-19
2位	山田昌美	589	27
3位	中岸プロ	588	-2



京都の桜は良いですね。**3月例会**はゲストを含めて13人の参加でした。中岸プロが実力を発揮、3Gトータル649点で優勝です。祇園甲部の芸妓さん豆弘さんが着物で2位入賞。久しぶりに中村正博さんが参加されました。BB賞は集中力不足の毛利でした。(幹事疲れ) 試合結果は添付ファイル

の通りです。延期した恒例の新年会を今月開催しました。鴨川沿いの「河久」にて舞妓さんまめ彩さんも一緒に楽しいひとときを過ごしました。

**宴会から現役スキーヤー源田富美雄さんも参加です。**

新緑が美しい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。**4月例会**は平松コーチが3Gで735(アベ245)というハイスコアでハンデ(-24)でも大差で優勝です。次回ハンデは(-46)です。2位の長澤さん(テクノサービス)もアベ200の好成績です。山田昌美さんはアベ160でしたが、今回も優勝ならずです。5位以下は30ピン差に5人の接戦でしたが、田中光子さんがBB賞でした。毛利は球のキレがよく2Gで200アップしました。5月例会はラウンドワン河原町店が休業のため中止です。ボウリングの後のスーパードライの生ビールは格別です。大ジョッキは近頃見ない大きさです。皆さん6月例会にぜひご参加ください。

順位	氏名	Net	次回HD
優勝	平松尚武	663	-46
2位	長澤穰	613	-5
3位	小林正和	573	3

**小学生日本一山口直矢君参戦!**ラウンドワン再開に合わせて堀場オープンボウリングも再開です。今回初参加は、堀場アドバンスドテクノ現役の山口真矢さんと息子さんの直矢君です。直矢君はなんと小学生日本一です。

**6月例会**の優勝はアベ225でお父さんの山口真矢さんでした。直矢君はアベ211で2位となりました。(初回はハンデゼロ)親子とも両手投げで、アマチュア競技会で活躍中です。久々の鳥島さんが3G目に200アップして3位に入りました。次回は優勝でしょう。山口さん親子の参加で堀場オープンもメンバーが充実してきました。過去5ゲーム平均のハンデ制(180点基準)ですので、誰でも優勝のチャンスはあります。参加をお待ちしています。

## ボウリングクラブ 続き

東京オリンピックの競技種目になぜボウリングがないのでしょうか。総務省統計局の「平成28年社会生活基本調査」によれば、日本人が参加するスポーツ第3位はボウリングです。因みに1位は散歩、2位は軽い体操、ジョギングは4位です。しかし、ボウリングはボルダリングに負けてしまったのです。

**7月**の優勝は小学生日本一の山口直矢君（12歳）です。両手投げで、ハイゲームは278、3ゲームでグロス684でした。

次回のハンデはマイナス50点となります。永田さんが惜しくも2ピン差で準優勝です。3位には久しぶりの参加の鳥島さんです。平松コーチはグロス1位の701（アベ233）でしたが、4位です。小林さんがBB賞、毛利は最下位に沈みました。

パラリンピックを身障者が楽しむことは良いことだと思いますが、スポーツとして競うことは難しいように思います。各人の障害が異なるからです。その点当会は公平です。過去5ゲームの平均スコアでハンデが決まります。

その厳しいハンデを乗り越えて**8月例会**は中岸プロの優勝です。

3Gともグロスで200アップでした。

2位には安定して130点前後の田中光子さんが入りました。

3位はニューボールでもイマイチの毛利です。常連の永田真寿夫さんは大雨でJRが止まり欠場

でした。

10月例会は晴れてスーパードライで表彰式&懇親会を開催できそうです。

**9月例会**は毛利がアベ185で久々の優勝です。ストレートボールも買い替えて次回はさらに期待しています。

道具に頼るのは衰えの証拠ですね。

準優勝はサウスポーからの大きなフックボールが武器の永田さんです。

3位は高止まりで安定している山田昌美さんです。次回は優勝？

BB賞は休場明けの鳥島さんでした。

（毛利 隆文 記）



## 釣りクラブ

自粛釣りクラブ活動報告（9/11土）

緊急事態制限下ではありますが、9月11日に中村、山岸、調子の3名で久しぶりに沖釣りの1日をエンジョイしました。

午後の数時間はまだまだ強い日差しに焼かれましたが、夕刻は秋の兆しを感じられるイワシ雲の下、涼しいそよ風でリフレッシュすることができました。

残念ながら潮が早く針を思ったようにポイントに送り込むことができず釣果は今一つでしたが、コロナウイルス感染の懸念からも解放されたワイドオープンエア環境での一日を過ごしました。水温の低下に伴い鰯、ヒラマサ等

青物のシーズンがやってきます。

釣りクラブメンバー以外の方の参加も歓迎致します。

（調子 均 記）



### 「一寸先は闇」東京支部 玉置 健三

今年も新型コロナウイルス禍の中、第93回選抜高校野球大会の実施が決定され、観客人数、応援等に夫々制約があるとの事ですが、出場校の選手達は大喜びで、澆刺と甲子園球場の土を踏みしめたことでしょう。

しかし、昨年の夏の全国大会は、コロナウイルス禍で中止が決定され、全国の球児、特に3年生は、最後の公式試合が出来ず、深く落ち込でいた折、都道府県での試合は観客、応援等での制約付きでの実施の運びとなったので、選手達は喜び、そして元気を取り戻して練習再開したことでしょう。各地の試合で特に興味深く感じたのは、東京都の試合でした。東京都は学校数が多く約300校が、東西に分かれて試合を行い、従来は、東西の優勝高校が甲子園球場での全国大会に出場していました。

しかし昨年は、全国大会は中止が決定された関係で、初の東西の優勝校同士が対戦し東京都の1位決定戦が行われました。

東優勝校帝京高校vs西優勝校東海大菅生高校

試合経過は帝京高校が先攻で、最終回9回表終了時点で、2対0で帝京高校がリード。

9回の裏、東海大菅生高校最後の攻撃開始。打順は幸い1番バッターからでセンターへ抜けるヒット。そして2番バッター※はフォアボールで出塁し、これでノーアウトランナー1、2塁のチャンスとなり、3番バッターがレフトフェンス直撃の3塁打で同点とした。続く4番、5番バッターが、帝京高校の申告敬遠でフルベースとなり、6番バッターが浅いセンターフライとなり、センター守備の選手が猛前進するも僅か届かず、3塁ランナーが生還、しかもノーアウトで3対2と東海大菅生高校が逆転勝利！！



8回の終了時までの東海大菅生高校の試合経過で、安打は僅かピッチャーの1安打のみ、この時点では多くの方は、帝京高校が勝利と思われた事でしょう、私もその様に思いました。

よく言われている事ですが、何事も諦めてはその時点で全て終わり、良い結果は絶対訪れない。

今回の東海大菅生の選手達は、技量があるその上、この諦めない努力で良い結果も出せる事の証明をしてくれました。一方、敗戦の帝京高校選達も、悔しい思いと同時に、一秒先に何が起こるか不明である事の大きな良い経験をしたことでしょう。また、本来なら両校は、夏の甲子園での全国大会に出場できるのに、コロナ禍で中止になりました。



この様に両校の選手達は、この多くの大きな経験を生かし、素晴らしい未来を迎えることでしょう。

追記) 優勝校の東海大菅生の出場選手の一人は私の孫です。

「※玉置真虎(マコ) 3年生ショート、打順2番、キャプテン」

日本学生野球協会より2020年の大学、高校の夫々都道府県より各1名の表彰があり、高校の部で東京都の1名は私の孫でした。

(HATOB会会報4から転載)



## 自由投稿

### ◆森かれんさん投稿の経緯

彼女は、(母)森久美さん(OB会員)の娘さんで元ホリバリアンでもあります。(父)森進さんも元ホリバリアンという堀場一家で育ちました。実は現在、京都市議員として活躍されていて、去る9月26日京都新聞朝刊一面に森さんの女性議員としての活動記事が大きく掲載されました。

堀場時代に叩き込まれた堀場精神を生かして市

会議員として市民ファーストで市民の為に戦っている姿は、私としても大変誇らしくOB会員にも是非知って頂きたいと思い「堀場での経験を生かし“おもしろおかしく”今を生きる」のタイトルで投稿を依頼致しました。

大変多忙にもかかわらず気持ち良くお引き受け下さり掲載となりました。一読して頂けますと幸いです。(記 小川柁幸)

## 「堀場での経験を生かし“おもしろおかしく”今を生きる」

### ○生い立ち

祖父は堀場無線研究所時代からお付き合いのある部品メーカーを経営し、私は両親ともにホリバリアンという家庭で育ちました。京都生まれであるものの、私が生まれた翌月、父に転勤の辞令が出たため小学校4年生まで千葉で生活し、その後京都市上京区に帰京しました。私が20歳のころ、当時53歳だった父はすい臓がんで半年間の闘病もむなしく亡くなりました。入院中も「仕事はどうなってるやる？」と自分の抱えていた仕事を心配しており、父は死ぬまでホリバリアンだったと思います。そんな父が勤めた「堀場製作所」という会社に魅力を感じて入社試験を受け、内定の電話をいただいたとき「父の分まで働くのが私の使命」だと感じたことを今も思い出します。今は退職しましたが。(笑)

2012年入社後、営業業務部門へ配属され、担当したのは国内・海外向けの半導体製品の営業業務でした。英語も話せないし、製品技術についてもまだほとんどわからない、けれども「お客様の納期に間に合わせるという思いは誰にも負けない」と製造や設計の方にも直接納期のお願いをして無我夢中で働きました。この経験が、意見を聴く姿勢や事実に基づいた分析と企画立案にたいへんに役に立っています。環境分析で社会貢献する理念から、自身も社会貢献していく、ネットワークを大事にしていきたいと考えています。

地元では国政政党所属のベテラン議員しかおらず「若い女性に何ができるねん！」と言われたものです。しかし、草の根の活動や「若い人にも頑張ってもらいたい」という期待もあり、頑張っています。

### ○議員7年目、3人の子育ても「おもしろおかしく」

「京都市の事業や予算・決算をチェック・提案をし、議決をすること」と「市民の方からのご相談など課題解決していくこと」が主な仕事です。気が付いたことは「相談をしてもらう



ためには仲良くなる必要がある」ということです。多くの人は見ず知らずの人にいきなり相談したりしません。「多くの人とかかわりを持って、何かあった時に声をかけていただく環境を作る」というネットワーク作りが大事と感じています。私は家族の協力で4歳、1歳、5か月の子を育てながら仕事をさせていただいています。ママ友から寄せられる相談が市の事業についての提案につながったりします。日々の生活の中からの気づき、お寄せいただく相談をもとに課題を解決することはやりがいがありますし、「子育て」も含めて仕事につなげられるということはとても嬉しく誇りを持っています。大変なことも多いですが「子育てしながらでも仕事をあきらめない、むしろステップアップしていく」という発想は会社の先輩方から教わったことです。輝く女性社員さんが大勢いる環境で社会人のスタートを切ったおかげで、仕事と子育ての両立もポジティブにとらえることができている。すべてのことが「おもしろおかしく」とは言えませんが、「おもしろおかしく」の精神をもってこれからも頑張ります。

### 【プロフィール】

1990年2月11日 京都市上京区出身

同志社大学政策学部卒業後、2012年堀場製作所入社 2015年から市議員

## 2021年会社ニュースピックアップ

### ◆ HIMaC2 ～ UCI の 研究 施設 始 動 ～

米国カリフォルニア大学アーバイン校 (UCI) に建設を進めていたHORIBAモビリティ・コネクティ



ビティ研究所「HORIBA Institute for Mobility and Connectivity2 (HIMaC2)」が、7月6日(現地時間)にオープニングを迎えました。

コロナ禍のため、UCIとHORIBA (HOR、HII) をオンラインでつなぎ、オープニングセレモニーが執り行われました。UCIから、Scott Samuelsen教授 (Founding Director, APEP※)、Brian Hervey副学長 (Vice Chancellor, UCI)、Jack Brouwer教授 (Director, APEP)、Vojislav Stamenkovic教授 (Director, HIMaC2)らが ご臨席のもと、HORIBAからは堀場厚会長、足立正之社長らがオンラインで参加され、ホリバ・インスツルメンツ社 (アメリカ/HII) からハクさんがUCIに赴かれて参加されました。

### ◆小惑星「リュウグウ」から採取した試料の分析を実施

小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」から採取した砂や石といった試料の初期分析プロジェクトに、HTSが化学分析チームの一員として参画しています。

化学分析チームが本格的に分析を開始することに伴い、6月24日にHTSで「化学分析チーム 分析開始式」を執り行いました。当日は報道各社14社より25名が取材に来られ、多数のメディアに取り上げられました。化学分析チームは大学、研究機関、企業から総勢約50名で構成されます。HORIBAが測定する試料は約30mg。蛍光X線分析装置でリュウグウ試料に含まれる元素の種類や量の分析を7

月上旬まで行い、その後東京工業大学や北海道大学のチーム員へとバトンをつなぎました。



### ◆島津製作所とHORIBAが、計測機器「LC-Raman システム」を発売

「LC-Ramanシステム」を6月25日に発売しました。2020年8月に、株式会社島津製作所上田輝久社長と足立正之社長の両名で協業基本契約に署名し、京都に本拠地を置く分析計測機器メーカー両社の協業が始まりました。

本システムは島津製作所の強みである高速液体ク

ロマトグラフ (LC) の「わかる」技術と、HORIBAの強みである顕微ラマン分光装置の「みえる」技術を融合させた新しい計測手法で、LCやラマン単体では得られなかった混合試料中成分に関する情報の取得が可能になります。両社は、LCとラマンといった異なる装置の一連の作業をサポートする専用ソフトウェア「LiChRa」を開発しました。

### ◆IRLAM (アールラム) 誕生

HORは、非分散型赤外線吸収法 (NDIR) をさらに発展させた「赤外線吸収変調法 (IRLAM: Infrared Laser Absorption Modulation)」を開発しました。このIRLAM技術は、量子カスケードレーザー (QCL: Quantum Cascade Laser) を用いた赤外線吸収法によるガス分析技術で、HORIBAの新たなコア技術に位置付けています。従来のNDIR技術では感度不足や干渉影響などで計測が困難だったガス成

分についても、高精度かつ幅広い種類のガス測定が可能となり、カーボンニュートラルや低エミッション化を背景に、多様化する工業プロセスの要求や環境規制強化に柔軟に対応できます。IRLAM技術は、HORIBAが65年以上にわたり磨き上げた赤外線ガス分析技術とノウハウの結晶であり、市場を問わず、今後発売される多くのHORIBA製ガス分析装置に搭載されていきます。

## OB会だより

### － 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページは総会、幹事会、キャリア活動、クラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

#### ◆ホームページアドレス

<http://horiba-ob.com>

#### ◆堀場OB会メールアドレス

[horiba.ob@gmail.com](mailto:horiba.ob@gmail.com)

### － 幹事・監査体制 －

代表幹事 酒井 俊英

副代表幹事 小川 柁幸

幹事 伊藤 哲、岡田 知二、  
尾崎 克好(東京)、笠川 重美、  
沢本 昌順、平野 彰弘(会計)、  
三橋 泰夫、森山 晶成、  
安田 世津子(副会計)

監査 湯浅 一郎、和田 晃一(会社)

### － 新入会員紹介(敬称略)－ 第25期以降新入会された会員を紹介します。

南井 加津雄、坂本 淳一、鈴木 雅雄、北村 裕之、池田 芳浩、西方 康博、上田 永人、  
坂東 篤、楊 逸明、白井 誠次、芦田 裕昭、高田 雅弘、丹羽 久、宮川 寛子、山岡 由典  
山田 修、山岡 由典、宮川 寛子、丹羽 久、高田 雅弘、芦田 裕昭、東川 喜昭、  
小林 隆、高松 修司

### － 25期古希になられた方(敬称略)－ おめでとうございます。

多聞 講一、中村 勝美、松井 秀行、新 誠、調子 均、高田 守、岡田 義明、早田 善孝  
野田 容朗、梶並 純一郎、松本 博夫、白井 誠次

### － 訃報－ 謹んでお悔やみ申し上げます。

高橋 義治様(享年83歳)、西田 裕一様(享年77歳)がご逝去されました。

### － 年間行事計画について－

年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- 鴨川を美しくする会
  - ・ 鴨川クリーンハイク (年間5～6回)
  - ・ 鴨川茶店 (4月予定)
  - ・ 鴨川納涼 (8月予定)
- 桂川クリーンハイク (3月予定)
- 工房学習支援 (年間：7～8回の予定)

- 祇園祭ボランティア (7月予定)
- 研修旅行 (2月予定) 東京支部 (5月)
- 春の懇親会 (4月予定)
- 夏の懇親会 (9月予定)
- 東京支部幹部懇談会 (9月予定)
- レジャー例会

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。

## 編集後記

今年もパンデミックの影響で、社会活動が制限されてきました。活動やお元気な消息を紹介できるのはうれしいことです。「脱成長」という言葉が注目を集めています。欧米や中国の企業は社会課題をビジネスチャンスと捉えて、イノベーションを加速させています。経済停滞を続ける日本が

脱成長を唱えることは、世界を変えるきっかけになるのでしょうか？「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である」そんな言葉を残したのは自然科学者のダーウィン。皆様お体ご自愛下さい。(編集者代表)